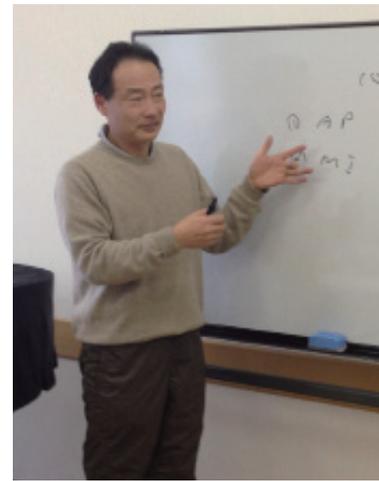


英語で診療 Medical English #32

診察室の臨場感味わえる研究会

2月17日に西宮フレンテで「Acute Coronary Syndrome, Palpitations (急性冠症候群、動悸)」をテーマに「Medical English #32」を開催。Robert Conroy 先生が講師、坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)が司会、伊賀幹二先生(西宮市・伊賀内科・循環器科)がアドバイザーを務め、医師・メディカルスタッフら15人が参加した。



アドバイザーの伊賀先生

研究会では、胸痛を訴える75歳の男性と、夜中に動悸があった70歳の男性が医



今回も Conroy 先生が丁寧に発音指導を行った

院を受診したとの設定で、診察室における医師と患者の実践的な英会話を学習。伊賀先生が急性冠症候群などについての説明をおこなったほか、Conroy 先生が一人ひとり丁寧に英語の発音について指導した。また「ツングうつ自己評価尺度(SD S)」を用い、うつ病の自己評価法についても英語で学びました。

介護保険をよくする西宮市民の会

改定介護保険法をめぐり市と懇談

大森公一支部長が会長を務める「NPO 法人・介護保険をよくする西宮市民の会」が2月7日、西宮市職員会館で改定介護保険法をめぐって西宮市と懇談。「よくする会」からは大森会長をはじめ10人が参加し、市は福祉部長や健康福祉計画課長、介護保険課長など4人が応じた。

どでモデル事業を実施しているが、点状にする家庭に回るのは困難で、実際には高齢者住宅以外ではニーズが出てこないのではないかと回答。「施設から在宅へ」誘導を進める国の方針が現場では思うように進んでいない実態が明らかとなった。会としては今後も市との懇談を行っていく予定。

大森会長は冒頭のあいさつを行うとともに、「要支援者1・2の方に予防給付の保障を求める要請書」1053筆を市担当者に提出。改定介護保険法により市が手上げ方式で行う「総合事業」によって要支援者が介護保険の予防給付を受けられなくなることはないように求めたのに対し、市側は「24年度については実施しない」と回答。今後も予防給付の範囲を狭めることのないよう国に対しても働きかけてほしい旨の要望を行った。



署名 1053 筆を市担当者に提出する大森支部長 (左)

支部お花見会

日時：4月7日(土) 18時～

会場：夙川公園
(西宮市立夙川公民館の西側)

※小雨決行(休憩所として雨をしのげる小さな店舗を借りておりますが、荒天の場合は中止とさせていただきます)。お申し込みの先生には、詳しい地図をお送りいたします。

会費：1,500円 ご家族・スタッフの方もぜひご参加ください!

第18回医療過誤訴訟セミナー

【日時】4月7日(土) 15時～17時

【会場】西宮市勤労会館4階第8会議室

【テーマ】「医師賠償責任保険について」(仮)

【講師】大阪市・米田泰邦法律事務所
鵜飼 万貴子 先生

【司会】西宮市・半田医院
半田 伸夫 先生

(参加者からの感想)
・初めての参加でしたが、教材がスキットになっていて、実際の診察室の臨場感を味わいながら、学習できました。Conroy 先生に一人ずつ発音も見ていただいたので、少し難しい医学用語も楽しく学べました。また、心臓(Heart)に関する慣用表現の講義もあり、英語の表現の面白さに、改めて興味がわきました。
【西宮市・上ヶ原病院 医事課 山口 倫代】
・うつのスケールをとりあげていただきありがとうございます。場所がら、外国の方が来院されることもあるので、その際に役立てたいと思います。
【西宮市・平医院 受付 中津川 晶子】